

第6回 リウマチ市民公開講座



2016年9月25日(日) 13:00~15:30
(12:30受付開始)

会場 **エナジーホール**
(守口文化センター)

参加は
無料です

☎06-6992-1276 〒570-0038 守口市河原町8-22

開会のご挨拶: 寺西内科 院長 寺西 強先生

司会: 香川クリニック 院長 香川 英生 先生

13:00~

1
テーマ

「関節リウマチの飲み薬について」

演者: 関西医科大学附属病院 リウマチ・膠原病科 講師 孫 瑛洙 先生

2
テーマ

「関節リウマチの生物学的製剤について」

演者: 関西医科大学総合医療センター 整形外科 吉川 尚孝 先生

司会: みやしまリウマチ整形外科クリニック 院長 宮島 茂夫 先生

14:00~

3
テーマ

「関節リウマチの手術について」

演者: JCHO 星ヶ丘医療センター 整形外科 部長 桐座 康夫 先生

4
テーマ

「関節リウマチに関連する、むくみ、
しびれ、手足の冷えについて」

演者: 関西医科大学附属病院 リウマチ・膠原病科 科長 尾崎 吉郎 先生

興味のある方は
どなたでも
お気軽に
参加下さい!!



Q&Aコーナー

司会: 関西医科大学総合医療センター 呼吸器膠原病内科 西澤 徹 先生

閉会のご挨拶 関西医科大学附属病院 リウマチ・膠原病科 科長 尾崎 吉郎 先生

裏面の質問欄にご質問を記載し当日会場にお持ちください。受付にて回収させて頂き、多く寄せられた質問を中心にQ&Aコーナーにてお時間の許す限り先生方にお答えいたします。

お問い合わせ先 **関西医科大学総合医療センター 管理課** ☎06-6993-9659 (14:00~17:00)

共催

関西医科大学総合医療センター、関西医科大学附属病院
北河内リウマチネットワーク、中外製薬株式会社

後援

枚方市、大阪府四條畷保健所、大阪府豊川保健所、大阪府守口保健所、
交野市医師会、門真市医師会、大東・四條畷医師会、寝屋川市医師会、
枚方市医師会、守口市医師会、公益社団法人日本リウマチ友の会、
一般社団法人全国膠原病友の会

専門医の ご紹介

香川 英生先生



「患者様との対話を大切にする医療」をモットーに日々診療を行っております。このご病気で悩んでおられる患者様はお気軽にご相談下さい。

著書：「患者さんが知りたいリウマチ-膠原病-専門医が語る完全ガイド」(現代書林)

医療法人香川クリニック 院長
関西医科大学第一内科 非常勤講師

寺西 強先生



リウマチ治療はメソトレキサート製剤が普及し、生物学的製剤も積極的に使用される状況にあります。当院では内科医の立場で抗リウマチ薬の安全使用に努め、患者さんと十分に話し合いながら診療することを心がけています。

寺西内科 院長

宮島 茂夫先生



「ここに来て良かった」という喜びの言葉を交え、話しあひやすく何でも相談できる診察を心がけています。日頃疑問に思っていること、外でも気軽にいっしょに、何でもお気軽にご相談下さい。

京都リウマチ整形外科クリニック 院長

西澤 徹先生



関西医科大学総合医療センターにて、関節リウマチの診療を担当しております。分かりやすい医術をモットーに、患者さんとのコミュニケーションを大事にしております。近年、関節リウマチの治療薬は、次々に新薬が開発され進歩しております。Q&Aコーナーでは、少しでも病気の事や薬に対する理解が深まるようご説明致しますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

関西医科大学呼吸器医療センター
呼吸器膠原病内科

孫 瑛洙先生



関西医科大学附属病院で多くの関節リウマチ患者さんの診療にあたりて頂いております。近年の治療法・治療薬の進歩により、関節リウマチの治療目標は「痛みの緩和から「病状の沈黙」へと大きく変化してきました。患者さんへは常に、最新の治療法を分かりやすく説明することを心がけております。

関西医科大学附属病院 リウマチ-膠原病科

吉川 尚孝先生



テーマ①
関節リウマチの生物学的製剤について

関節リウマチは全身の様々な関節に炎症を引き起こし、初期は徐々に進行し重たくなってまうと書かれていた。近年、生物学的製剤による治療法の進歩は著しく、劇的に病状が改善されてきています。しかし、薬物治療のみでは徐々に関節の歪みや進行する関節症も多発し、手術療法が必要となる場合もあります。当科では薬・器・運動・有酸素中心に全身の運動機能の回復を目指し、手術療法・薬物療法、及びリハビリ・治療のつなごうを

関西医科大学総合医療センター 整形外科

棚座 康夫先生



テーマ②
関節リウマチの手術について

関節リウマチは、薬物治療の進歩により病勢の進行を抑えることができやすくなりました。当院では、抗リウマチ薬や生物学的製剤を用いてできる限り関節リウマチのコントロールを行い、また関節変形や機能障害のために外科的治療が必要な患者さんに対しては関節の手術を積極的に行っています。地域の先生方や他科の先生方とも連携しながら診療をすすめていきたいと考えています。

JCHO豊丘医療センター 整形外科 部長

尾崎 吉郎先生



テーマ③
関節リウマチに関連する、むくみ、しびれ、手足の冷えについて

随分とも書かれてきた関節リウマチですが、新しい薬理作用をもつ生物学的製剤の登場により症状が改善、病状の進行を遅らせる可能性が高まりました。地域の先生との連携を密にすることで患者さんの治療・再発をできるだけ予防してまいりますので安心してお願いいたします。

関西医科大学附属病院
リウマチ-膠原病科 科長

交通アクセス

守口文化センター エナジーホール

〒570-0038 守口市河原町8-22
☎06-6992-1276

※当センターには、駐車場及び駐輪場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

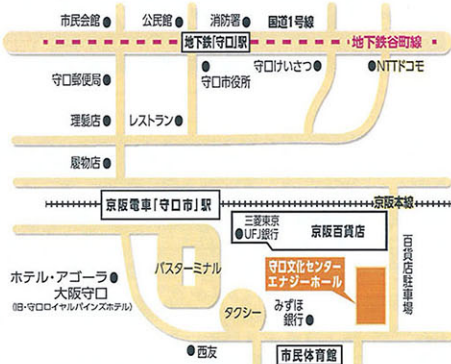
※自転車やお車でのご来場は、近隣の公共有料駐輪場や民間駐車場をご利用ください。

◆京阪電車「守口市」駅 東口から徒歩2分

- ・淀屋橋駅から「守口市」駅まで約12分
- ・京橋駅から「守口市」駅まで約5分(急行・準急・区間急行の場合)

◆地下鉄谷町線「守口」駅 3番出口から徒歩

- ・地下鉄谷町線「東梅田」駅から「守口」駅まで約15分



質問

多く寄せられた質問を中心に、お時間の許す限り先生方にお答え頂きます。

当日受付にて回収致します。